



## 一人ひとりが大切にされる教育

特別支援教育担当

子どもたちはみな性格、興味関心、得意なことや苦手なこと、学び方、感じ方、成長の仕方など、一人ひとりがちがったものをもっています。そして、それらは大切な「個性」であり、一人ひとりが、唯一無二のかけがえのない存在であることの証でもあります。でも、学校などの集団生活の中では「みんなと同じように学習できない」、「友だちとの関係がうまく築けない」などの困り感が生じることがあります。それが続くと自己肯定感が低くなり、何かをするときに、やる気がわかなくなったり、意欲が低下したりすることにつながる場合があります。どの子どもも個性を大切にされ、生き生きと生活できるようになるためには、まず、私たち大人がそれぞれの困り感を理解し、気持ちに寄り添いながら、その要因を見極めて適切な支援をしていくことが必要です。また、子どもたちの中に、「ちがい」を当たり前ものと感じ、困っている子の困り感やその子なりの頑張りを認めたり助け合ったりする雰囲気をつくっていくことも大切です。

特別支援教育とは、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援や配慮を行い、子どもたちのよりよい成長をめざしていく教育です。本校では、特別支援学級や通級指導での個別指導（個に応じた指導）、児童支援教員等による複数指導、アフタースタディ（放課後学習支援）、児童理解教育（互いのちがいを認め合い、理解しあえる教育）、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）との連携等により、全ての児童が自分らしく笑顔で楽しく学校生活が送れるように、全教職員の共通理解を図りながら様々な取組や支援を行っていきます。さらに、必要に応じて、他の教育機関や医療・福祉の専門機関と連携を取り、それぞれのケースに応じた支援体制を整えていきます。子どものことで、気になることがございましたら、遠慮なく学校にご相談ください。

### 私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても お空はちっとも飛べないが  
 飛べる小鳥は私のように 地面を早くは走れない。  
 私がからだをゆすっても きれいな音は出ないけど  
 あの鳴る鈴は私のように たくさんの唄はしらないよ  
 鈴と小鳥とそれから私 みんなちがってみんないい。

金子みすず[1903-1929]



## <6月・7月の予定>

（※毎週金曜日は職員定時退勤日です。）

日	月	火	水	木	金	土
18	19	20	21	22	23	24
	児童集会		クラブ活動 プール開き	アフタースタディ		
25	26	27	28	29	30	7/1
	5年生自然学校	5年生自然学校	5年生自然学校	5年生自然学校	5年生自然学校	
2	3	4	5	6	7	8
	全校朝会	第2回PTA合同委員会	口座振替日 委員会活動	アフタースタディ		
9	10	11	12	13	14	15
	児童集会			地区別児童会 チェリー一班活動		
16	17	18	19	20	21	22
	海の日	水曜時程 一斉下校 14:20		水曜時程 一斉下校 14:20	終業式 一斉下校 10:30	

※個別懇談 7/24（月）～26（水）

# 子どもを幸せにする「非認知能力」

研究推進委員会

これからの時代を生きるために、幸せな人生を切りひらくために必要な非認知能力。

本校では、わかりやすく、次の3つに分類してみました。

- ③ かんかしよう! ……【他者とつながる力】協調性、思いやり、コミュニケーション力、リーダーシップ、社交性、敬意 など
- ④ らいつこう! ……【目標に向かう力】ねばり強くがんばる力、やる気、集中力、応用力、失敗から学ぶ力 など
- ⑤ しくあろう! ……【自分を高める力】自信、自尊感情、精神力、判断力、楽観性、自制心、責任感 など

これらは、様々な学校行事やイベントでも高まりますが、日常の教科学習で育むことに力を入れていきたいと思っています。

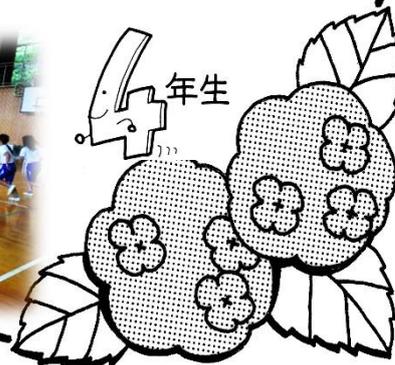
「私たちは、子どもの伸びようとする動きに目を向けて、深く価値づけようとしているでしょうか。」を授業中の合言葉に、子どものきらっと光る事実をとらえ、全体へ共有していく授業をめざします。

## 学年のじびら

4年生の学年目標は『どんなときでも』です。

パワーがあり、楽しいことが大好きな子どもたちです。しかし、勇気がなくあと一歩が踏み出せなかったり、相手の気持ちを考えきれなかったりという弱さもあります。だからこそ、自分たちの強いところを活かし、弱いところはみんなで強いところに変えていけるクラスにしたいという思いをもっています。

もっと具体的に今取り組むことも決めました。それは、「どんなときでも、助け合う」です。自分たちでチャレンジしたいこと、楽しいことを作り、「どんなときでも」を大切にできる4年生になってほしいと願っています。



## わくわく外国語教育 ～コミュニケーションの素地・基礎をつくる～

外国語教育担当

5, 6年生で外国語の教科化、3, 4年生で外国語活動が始まって4年目となりました。5, 6年生は週に2時間、外国語の学習をしています。また、毎年 GTEC(スコア型英語技能検定)を6年生が受けています。以下は、昨年度の結果の考察の一部です。

- 「聞く力」は大変正答率が高い。これは、継続したフォニックス指導によって細かい音の違いが聞き取れているのだと思う。
- 「話す力」も正答率が高かった。ALT との毎時間の反復的なやりとり、パフォーマンス評価によって話す機会を多くしていることが要因だと思う。
- 「聞く力」の正答率のスコアが高いのに対し、「読む力」が少し低いスコアにあった。これは、文字や文と音の結びつきがまだ難しいことや、ピクチャーカードの文字を見ずに、絵と言葉を暗記して伝えていることも要因であることが考えられた。これからは、フォニックスを中心として文字と音が結びつくような指導を心がける。

今年度も、9月に3年生以上の外国語(3, 4年生は外国語活動)でパフォーマンス評価(3, 4年生は英会話体験)を予定しています。市内の ALT が来校し、子どもたちと外国語でコミュニケーションをとる機会をつくるための活動です。普段、なかなか ALT と話すのが恥ずかしくてしゃべれない児童が、「話して楽しかった。」「意外と話していることが通じた。」など自信がついた様子が見られます。また、ALT の生の英語を聞くことは、児童にとっていい刺激になっているようです。「話すことができた。」「学習がわかった。」と思えるように ALT と協力して授業をしていきます。よろしくお願いします。